



熊本県感染症情報(9月24日～9月30日)



KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 1	0	百日咳	↗ 1	0
RSウイルス感染症	↗ 144	124	ヘルパンギーナ	→ 24	24
咽頭結膜熱	↗ 35	21	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 29	27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 29	19	急性出血性結膜炎	↗ 1	0
感染性胃腸炎	↗ 201	164	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 13	12
水痘	↘ 35	36	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 21	12	無菌性髄膜炎	↘ 0	1
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 2	3	マイコプラズマ肺炎	↘ 3	6
突発性発しん	↗ 49	38	クラミジア肺炎	↘ 0	1

報告が多い感染症

- ☀ 感染性胃腸炎
- ☀ RSウイルス感染症
- ☀ 突発性発しん

- 感染性胃腸炎は、報告数 201件(前週報告数 164件)と増加。地区別では、有明、人吉、八代に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 31件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- RSウイルス感染症は、報告数 144件(前週報告数 124件)と増加。地区別では、水俣、菊池、熊本に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 63件を最多に5歳以下からの報告です。
- 突発性発しんは、報告数 49件(前週報告数 38件)と増加。地区別では、水俣、菊池、熊本に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 24件を最多に 3歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所		66	21	18	46	12	6		24		4	12	1	9				3
山鹿保健所					11		2				1	1	*	*				
菊池保健所		13	7	3	18	2		1	8		1			2				
阿蘇保健所					4								*	*				
御船保健所					3								*	*				
八代保健所		9	1		28	10	3	1	3		1							
水俣保健所	1	4				3			5				*	*				
人吉保健所		15			5	25				1	3		*	*				
有明保健所		14	3		44	1	2		4		1	3		1				
宇城保健所		13	2		18	3	8		1		2	8						
天草保健所		10	1	3	4	4			4		11	5		1				
計	1	144	35	29	201	35	21	2	49	1	24	29	1	13	0	0	3	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	
インフルエンザ	1						1															
小児科定点年齢	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	144	21	32	63	18	6	3	1														
咽頭結膜熱	35		5	8	5	6	4			3	2		2									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29			1	2	5	4	2	4	3	4	3			1							
感染性胃腸炎	201	5	25	31	25	18	15	16	7	9	5	5	27	1	12							
水痘	35	1		11	10	9		3			1											
手足口病	21		4	6	1	4	4	1			1											
伝染性紅斑	2								1		1											
突発性発しん	49	1	22	24	1	1																
百日咳	1													1								
ヘルパンギーナ	24		2	10	6	3	2				1											
流行性耳下腺炎	29			2	4	4	4	4	4	2	4		1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	1														1							
流行性角結膜炎	13						1							1	2	7	2					
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	3		1	1	1																	
クラミジア肺炎	0																					

**大きな流行が発生
又は継続しつつある地域**

- ☀ 咽頭結膜熱:菊池
- ☀ ヘルパンギーナ:天草

RSウイルス感染症が再び増加!

RSウイルス感染症は、5週前から急激に増加し始め、先週はわずかに減少しましたが、今週再び増加しました。山鹿、阿蘇、御船を除く地域から報告があり、中でも、菊池、八代、人吉、宇城、天草は2週連続で増加しています。RSウイルス感染症は、冬季に流行する感染症ですが、今年は全国的に例年よりも早い流行の立ち上がりとなっています。本県では、過去5年間の同時期と比べ最大の報告数となっています。

年齢別では、2歳以下が約9割です。症状は一般的に、鼻水、咳、発熱など「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快します。2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかりますが、初めてかかった場合、約3分の1に細気管支炎や肺炎などを起こします。

特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では重症化しやすいので注意が必要です。また、一度感染しても再び感染することもあります。ウイルスは咳やくしゃみのしぶきから感染します。流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない、症状のある家族はマスクをする、外出後の手洗いをきちんと行うなど、乳幼児がいる家庭では、家族全員で予防しましょう。